

# 県立玉造工業高等学校自己評価表

【別紙様式2】

<p>目指す学校像</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>至誠・勤勉・協和の校訓を基本に、現代社会における工業の果たす役割を理解させ、適切な技能、技術を習得させる。</li> <li>すぐれた個性の伸張と豊かな人間性の育成に努める。</li> <li>社会の発展に寄与する産業人の育成を図る。</li> </ul>		
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>重点項目</p>	<p>重点目標</p>	<p>達成状況</p>
<p>・「基礎学力の向上」を目指し、習熟度別(数学)やTT授業(英語)を展開して「少人数授業」等のきめ細かな指導を実施した。また、SHRで小テストを実施するなど、学習意欲の向上を図った。 さらに、「教科担任会」を実施して生徒理解に努めた。しかし、基礎学力不足や家庭学習の習慣が身に付いていない生徒がおり、基礎学力の向上・定着が図れるよう教科指導をさらに充実させる。</p> <p>・遅刻の段階的指導や頭髪に関する継続指導等を行い基本的な生活習慣の確立を図っている。また、警察等の関係機関と連携を密にし、事故の防止に努めているが、規範意識の欠如がみられるため、さらに「道徳心の育成」と基本的な生活習慣の育成に努める。</p> <p>・進路ガイダンスや企業訪問等の求人開拓、進学課外等により、進路に対する意識が高められ進学や就職において好結果を残すことができた。今後はさらにこの取組を充実させる。</p> <p>・学校行事においては、地域や保護者等の交流を意識して実施することができ、生徒も十分な達成感を得ることができた。今後は奉仕体験活動を充実させることにより地域との連携をさらに密にする。</p> <p>・部活動加入率を高めるために工夫改善を図ったが、効果が上がらなかった。よって、さらに検討を重ね部活動の活性化を目指す。</p> <p>・学校新聞の配付や学校公開により各中学校や保護者、地域への広報活動に努めた。この取組をさらに充実させ、開かれた学校づくりと生徒募集に反映させる。</p>	<p>分かる授業を展開し、基礎学力の向上を図る。</p>	<p>①生徒の実態に応じ、学習内容を精選して基礎学力の向上を図る。</p> <p>②各教科内で研修を充実させ、分かる授業の展開を目指すとともに教科間の連携を図る。</p> <p>③習熟度別及びTTの授業の充実を図る。</p> <p>④7時間目の内容を充実させ、資格取得者の増加と進学希望者への対応を図る。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>C</p>
	<p>基本的な生活習慣の確立と規範意識の育成を図るとともに、交通安全教育の推進に努める。</p>	<p>⑤挨拶の励行や遅刻・早退・欠席の減少に努める。</p> <p>⑥頭髪や服装等を正そうとする意識を身につけさせる。</p> <p>⑦社会人として必要な公共のマナーを身につけさせる。</p> <p>⑧保護者や関係機関との連携を密にとり、生徒の安全確保に努める。</p> <p>⑨交通安全教育を推進し、交通安全に対する意識の向上を図る。</p>	<p>C</p> <p>C</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>
	<p>望ましい勤労観や職業観の育成に努める。</p>	<p>⑩進路に対する意識の向上を図り、希望進路の実現を図る。</p> <p>⑪企業及び大学等の情報を広く収集し、進路選択に役立たせる。</p>	<p>A</p> <p>A</p>
	<p>学校行事の充実ならびに、部活動及び奉仕体験活動の活性化を図る。</p>	<p>⑫学校行事を通して生徒と保護者や地域との交流を図り、より充実感や達成感のある</p> <p>⑬部活動加入率を高め、活性化を図る。</p> <p>⑭奉仕体験活動を充実させる。</p> <p>⑮生徒の委員会活動を活発にする。</p>	<p>C</p> <p>D</p> <p>D</p> <p>D</p>
	<p>中学校や地域と連携を図り、開かれた学校づくりに努める。</p>	<p>⑯個人情報の保護、管理の徹底に努める。</p> <p>⑰生徒・保護者及び教職員の信頼関係を深める。</p> <p>⑱近隣中学校並びに地域への広報活動を充実させる。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題				
教科指導(普通教科)	国語	基礎学力の向上を図る。	生徒の実態にあった自作プリントを作成し、教科内で共有する。	①	C	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確な文字を書けない生徒が少なからずいるので文字を正しく丁寧に書かせるようにしたい。</li> <li>漢字を始めとする基礎学力の向上を図る。</li> <li>基礎基本の徹底(日本の都道府県を全部言える等)を図る。</li> <li>生徒の学力や理解度に応じて内容や指導方法を工夫し、小テストの利用などを通して基礎学力の定着を図る。</li> <li>習熟度別授業をより効果的に進めるためのクラス編成や指導体制について、再度検討をする。</li> <li>実験教材の開発に努める。</li> <li>理科教室の整備を行う。</li> <li>集団で行動できる力を身につけることに努める。</li> <li>集合時間を守らせることに努める。</li> <li>貴重品の管理をどのように行うか検討する。</li> <li>積極的な授業参加に努め、体力の向上を図る。</li> <li>プリント等を利用し、よりわかりやすい作業工程の説明や参考例を提供する。</li> <li>全員が作品を完成させることを目標とし、作品が完成する喜びを味わえるようにする。</li> <li>基礎学力の向上、定着を図る。</li> <li>外国語に関する興味・関心を高め、学習意欲の向上を図る。</li> <li>習熟度別授業を検討する。</li> <li>自分の生活をデザインする力をつける。</li> <li>独り立ちに向かう準備をする。</li> <li>調理実習を通して、自分の食生活を改善するように努める。</li> <li>習熟度別に編成し、単元小テストの実施、宿題・課題による予習復習により基礎力の向上を図る。</li> <li>実験実習レポートの徹底により基礎基本及び表現力等の向上を目指す。</li> <li>生徒の実態にあった授業を展開し、指導方法の工夫改善を図る。</li> <li>今年度取り入れたマイコンカーの製作実習のように、今後とも生徒が興味・関心を持つ実習を工夫・検討する。</li> <li>合格率(45.7%)が非常に良い電気工事士試験について、今後も継続できるように計画的に指導する。</li> <li>座学と実習内容・指導計画の検討を行った電子回路組立技能士を軸とする教科指導について実行する。</li> <li>FA設備の導入を契機に、実習項目の精選を行うとともに、生徒の現状に合わせて、テキスト・教材等を見直し、より充実した授業を目指す。</li> <li>危険物取扱者資格取得を目標に科全体で取り組み、合格率の飛躍的な向上に努める。</li> </ul>	
			教科内研修を充実させ、よりよい授業法について意見を交換する。	②				B
			文章に対する意識を向上させるために、読書を薦める。	①				B
	地理・公民	基礎学力の向上を図る。	政治・経済の専門用語と時事問題を関連付けて基礎知識の定着を図る。	①	B	B		
			近現代史について、日本の歴史と関連づけて理解を深める。	①				B
			地図帳等の資料を活用し、世界の諸地域の風土・文化等の理解を深める。	①				B
	数学	基礎学力の向上を図る。	新入生テストを実施し数学に対する理解度を把握し、学習内容の精選や指導方法の工夫に生かす。	①	C	C		
			生徒の学力に応じた班の編成を行い、1・2年生の習熟度別授業の充実を図る。	③				B
			週1回の7時間目を利用して2・3年生の進学希望者の学力向上に努める。	④				D
			指導内容についての打ち合わせを定期的に行い、共通理解を図る。	②				B
	理科	基礎学力、学習意欲の向上を図る。	観察や実験の機会を増やし、生徒の興味・関心を引き出す授業の展開に努める。	①	B	B		
			教科内の連携によって理科教室の整備を推進し、教材等の有効活用を図る。	②				C
			計算演習を取り入れ、基本的な科学計算能力の習熟を図る。	①				B
	保健体育	体力の向上、健康増進を図る。	授業での効果的な補助運動の回数及び適切な種目を考えて指導する。	①	B	B		
選択制を導入し生徒一人一人の運動時間を確保し体力の向上に努める。			①	B				
美術	制作意欲の向上を図る。	生徒の興味・関心に合わせて課題を設定し、作品を作る喜びや満足感を持つことができるよう指導する。	①	B	B			
英語	基礎学力の向上を図る。	英語の語彙を増やす工夫をする。	①	C	C			
		T・Tを活用し、外国の人々や文化に対する理解を深めたり、きめ細かな指導を行うことで生徒の学習意欲の向上を図る。	③			B		
		課外授業を実施し、進学希望者の実力向上を目指す。	④			C		
家庭	独立の準備の土台を作る。	基礎学力を、定着させて、自分の身近な生活に知識を活かす力を身につける。	①	C	C			
		調理実習を通して、一日三餐の食事を身につけ、実習時の服装や手洗いなどのマナーにも留意する。	⑥			B		
教科指導(専門教科・工業)	機械	基礎学力向上、知識・技術・技能の効率的な指導を図る。	授業内容の精選を継続的に実施する。	①	B	B		
			生徒の実態・ニーズに合わせ、参考資料等の副教材を活用し授業を展開する。	①②④			C	
			資格試験及び講習会について効果的にガイダンスを実施する。	④			C	
	電気	基礎的な技術・技能の効率的指導と資格取得の指導と奨励を図る。	生徒の理解力の実態に合わせた適切な教材の準備及び授業展開、指導方法の工夫改善を図る。	①	B	B		
			実習の指導方法や内容を検討し、生徒が理解しやすいように実習テキスト・装置・設備の充実を図る。	②			B	
			電気工事士等の学科指導・実技指導を計画的に行う。	①④			A	
	情報技術	基礎学力と資格取得の向上に努める。	授業・実習内容を精選し、効率的な指導ができるようにする。	①②	B	B		
			基本的な情報関連検定試験指導を効率的に行う。	④			B	
シス学テム	基礎学力と資格取得の向上に努める。	授業内容の精選し、効率の良い学習ができるようにする。	①②	B	B			
		生徒の現状に合わせて、テキスト・教材等を見直し、充実した授業を目指す。	①②③			A		
		各種検定試験において、7時間目や放課後の時間を有効活用した補習計画を実施し、合格率の向上に努める。	④			B		

※評価基準 A：十分達成できている、B：達成できている、C：概ね達成できている、D：不十分である、E：できていない

教 務	授業時間の確保を図る。	授業の開始及び終了時間を厳守する。	①	C	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「時間厳守」に対する生徒の意識を高め、HRや授業への遅刻をなくす。</li> <li>・学期ごとに授業時間の調整を行い、曜日ごとの均等化を図る。</li> <li>・「シラバス」の役割を確認し、より利用価値のあるものにする。</li> <li>・習熟度授業やIT授業を見直し、さらに充実を図る。</li> <li>・各教科における、学習指導の研修会や相互評価の充実を図る。</li> <li>・「7時間目」の出席率や、資格取得に対する意識を高めるために、合格率や前年比等を生徒・職員に提示する。さらに、地域に公表する工夫を検討する。</li> <li>・教員間の授業研修会を積極的に計画し、個々のレベルアップに努める。</li> <li>・学校Webページを利用し、地域に学校新聞（玉工通信）の配付方法を検討する。</li> <li>・保護者や地域住民に対する「学校公開」や「授業公開」をさらに充実させるとともに、「中学校への出前授業」等を検討し、「開かれた学校づくり」を推進する。</li> <li>・校内の掲示板の活用を充実させ、生徒の校内情報に対する意識を高める。</li> <li>・保護者への連絡体制（配付文書等）を充実させる。</li> <li>・基礎学力の定着に向けて、全職員で取り組む体制を整備する。</li> </ul>	
		曜日毎の年間授業時間数の調整を学期ごとに行う。	①	B			
		各教科ごとのシラバスの充実を図る。	①	B			
	基礎学力の向上を図る。	習熟度別授業やティームティーチングの授業の充実を図る。	①③	B	B		
		各教科や各学年と協力し、成績不振生徒の減少に努める。	①②	B			
		公開授業及び学習指導に関する研修会を実施し、授業に対する創意工夫を図る。	②	C			
	特色ある教育課程の編成と運営に努める。	生徒の実態に応じた教育課程の編成を検討する。	①	B	B		
		科・コース選択(1年生)や選択教科(2,3年生)の「がイッテ」が円滑に行われるように、工夫する。	②	A			
		各教科、各教科との連携を密にして7時間目の充実を図る。	④	C			
		資格取得への意識を高め、合格率を上げる。	④	C			
校内研修の充実を図る。	情報の共有化を図るため出張等の報告会や研修会及び新旧学年による打合せを行う。	⑬	A	A			
	学校新聞（玉工通信）をさらに充実させ、地域や近隣中学校への広報活動に努める。	⑬	B				
広報活動の充実を図る。	中学校教員および中学生対象の学校見学会をさらに充実させる。	⑬	A	B			
	中学生や保護者、地域を対象にした学校公開の充実を図り、開かれた学校づくりに努める。	⑬	B				
	校内諸データの整理に努める。	成績データを活用し、生徒の指導に役立てる。	⑬		C	B	
校内の内規や資料を整理する。	⑬	B					
情報管理	校内情報の整理と管理に努める。	校内データを整理し、教職員が利用しやすい環境を整える。	⑬	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉データの容量の増加と煩雑さを解消するため、データの見直しを行い整理に努める。</li> <li>・教職員の情報教育ネットワークの各機能について活用できるよう支援に努める。</li> </ul>	
		個人情報の保護に努める。	⑬	A			
		学校ホームページの内容を精選し、見やすく新鮮な情報の提供に努める。	⑬	B			
	校内のネットワークの充実を図る。	教職員及び生徒が、利用しやすいネットワーク環境の構築および運営に努める。	⑬	B			B
		新校舎への移転と情報機器の更新に伴う校内ネットワークの整備に努める。	⑬	A			
	教育情報ネットワークの活用と連携に努める。	教職員及び生徒のネットワーク利用の研修を計画し、実施する。	⑬	C			C
教育情報ネットワークの適切な活用のための利用を支援する。	⑬	C					
学校代表電子メールの定期的な確認および報告に努める。	⑬	B					
生徒指導	基本的生活習慣を身につけさせる。	生徒の現状に対応できるよう、内規の見直しを継続する。	⑦	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通マナーの向上を図る。</li> <li>・頭髪服装指導を徹底する。</li> <li>・指導基準の統一を図り、「いつでも、どこでも、だれでも」をスローガンに全職員が指導し、規範意識の向上を図る。</li> <li>・生徒理解の深化により、問題行動の未然防止に努める。</li> <li>・保護者との信頼関係を構築し、保護者との連携の強化を図る。</li> <li>・地域の行事やボランティア活動に積極的に参加させ、地域と共に育てることを目指す。</li> </ul>	
		学校生活全般を通じて、集団や社会の中での自分の役割を自覚し、ルールを守る大切さ、自己責任の重要性を自覚させる。	⑦	C			
		服装・頭髪・化粧・挨拶などについて、全職員が、いつでも、どこでも指導するように共通理解を図る。	⑤⑬	C			
		頭髪・服装・化粧指導について、各学年主任と生徒指導部との打ち合わせを定期的に行い学年間の差をなくす。	⑬	B			
		個人用遅刻カードをつくり、遅刻回数に応じた指導を行い、遅刻の減少を目指す。	⑤⑬	A			
		合格者説明会の際に、保護者に対して学校の指導に理解を求め、頭髪等の指導を行う。	⑤	A			
	交通安全教育を推進し、交通事故件数を減らす。	長期休業中の出校日に、頭髪、服装、家庭での過ごし方についての指導の継続を図る。	⑤	A	B		
		HR指導や外部講師による講話、立哨指導、バイク講習会等の実施によって交通安全教育を充実させる。	⑨	B			
		家庭の協力をより強める為、普通車免許取得に対して、教習所入所届けを提出させる。	⑨	A			
		交通事故の未然防止と規則遵守を励行させる。	⑨	C			
問題行動の未然防止に努める。	保健厚生部と連携し、薬物乱用防止や性教育等の講話を実施する。	⑦⑧	A	B			
	警察や中学校・他校との連携を深め情報交換を密にする。	⑧	A				
	中学校訪問を入学前に行い、情報収集に役立てる。	⑧⑬	A				
	家庭との連携を密にするため、電話連絡や家庭訪問、保護者面談を適宜行う。	⑬	C				
保健厚生部と連携しカウンセリング研修会などを計画実施することで、すべての教員がカウンセリングマインドに基づく態度や技能を身につけ、生徒との信頼関係を築く。	⑬	B					

進路指導	主体的な職業選択能力の育成を目指す。	自らの能力・適正に応じた進路目標を早期に持たせることにより自発性を喚起させる。	⑪	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒全員に明確な進路目標を持たせ、不景気による求人数の減少にも対応できる就業意欲・基礎学力を持った人材育成を目指した進路指導を継続する。</li> <li>企業に本校生徒の採用を依頼する。</li> <li>”書く”活動を通して自己理解を深め、適切かつ前向きな職業選択を指導する。</li> <li>課外および学習合宿のあり方を再検討する。</li> <li>進学課外の出席率向上の為、さらなる呼びかけを実施する。</li> </ul>	
		外部講師（企業人事担当、卒業生）を招き、講話を実施する。	⑩⑪	B			
		企業訪問、早期の企業見学、インターンシップを実施する。	⑩⑪	A			
	計画的・組織的な進路指導を行う。	進路を意識した実力テストを実施する。	⑩	B			B
		大学進学に対する意識の高揚と課外出席の定着を図る。	⑩⑪	C			
	コミュニケーション能力の育成を図る。	就職や大学入試での面接指導と絡め、学校生活全般において育成する。	⑦	B			B
HR等を活用し、自分の考えや意見の交換を通じて能力育成を図る。		⑦	B				
図書視聴覚	図書館の利用を促進させる。	本の紹介を行事や季節と関連させて行い、資料の貸し出しの増加につなげる。	⑮⑰	D	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>A棟4Fの時よりは来館者が増えたが、よりいっそうの増加を図る。</li> <li>「先生方のお薦めの本」などの紹介を、図書委員会活動と連動させて行うよう努める。</li> <li>校内での読書習慣の確立を目指す。</li> <li>先生方向けの本や、授業で活用できるDVDの紹介用リストを作成する。</li> </ul>	
		委員会活動および放送などを通じて、新着図書のご案内やお薦めの本を紹介する。	⑮	D			
		図書館報およびミニ館報を定期的に発行する。	⑮⑰	B			
保健厚生	快適な教育環境づくりに努める。	清掃方法や清掃用具の使用方法を徹底させる。	⑭	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会活動を通して、基本的な生活習慣や環境に対する関心を持たせる。</li> <li>清掃用具の整備をする。</li> <li>購買・自販機の販売品目を定期的に確認する。</li> <li>保健室の適正な利用方法を維持する。</li> </ul>	
		ゴミの分別化を徹底させる。	⑦	B			
		保健委員会の活動を充実させ指導を徹底する。	⑮	C			
	健全な生活習慣づくりに努める。	食育に関心をもたせ、望ましい食生活について啓発する。	⑧	B			B
		十分な睡眠時間の確保や適切な運動習慣を身につけさせる。	⑤⑧	C			
	防災意識を高める。	避難訓練を効果的に行う。	⑧	C			C
保健室の利用を徹底させる。	適正な利用方法を維持する。	⑦	B	B			
渉外	PTA活動を活発にする。	PTA諸行事への参加者をふやすために興味関心のある教育的行事を企画する。	⑫	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>総会への保護者の出席率が2割未満であるため、参加率の向上をめざす。</li> <li>球技会時の安全に配慮する。</li> <li>旅行を後援会との合同研修会として検討する。</li> <li>文書回収の方法や効率を検討する。</li> <li>広報誌を中学校にも配布し広報活動の充実を図る。</li> </ul>	
		マナーアップ活動を積極的に行う。	⑨⑰	B			
		保護者・住民圏・教職員間のコミュニケーションをとり、お互いの信頼感を高める。	⑰⑱	C			
特別活動	学校行事を充実させる。	保護者や地域の参加・協力を得て、体育祭やクラスマッチなど実施し、地域との交流を図ると共に、生徒の豊かな心の育成やクラスの友和を図る。	⑫	C	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>新校舎完成や文化祭を生かし、より地域との交流を図りながら、学校理解を深めてもらうとともに、本校教育に理解・協力を得られるように努力する。</li> <li>部活加入率の低下に歯止めがかからない現状から、部活動紹介をより効果的なものとするための検討をし、部活動加入率を高める。</li> <li>ボランティア活動を活性化させ、地域の幼稚園児や老人ホーム施設との交流を図る。また、各種ボランティア行事への積極的な参加を図る。</li> <li>文化祭を控え、生徒会や各種委員会の学校行事への積極的な参加の呼びかけを行い、活発な委員会の実現を図るとともに、文化祭の成功を目指す。</li> </ul>	
	部活動を活性化させる。	部活動紹介を全生徒参加のパフォーマンスを含む公開演技的なものにし、新入生の加入のみならず在校生加入の呼びかけの場とし、部活動加入率を高める。	⑬	D			
	奉仕活動を充実させる。	ボランティアを活性化させ、地域の幼稚園児や老人ホーム施設との交流を図る。また、各種ボランティア行事への積極的な参加を図る。	⑭	D			
	生徒会活動を活発にする。	生徒会や各種委員会の学校行事への積極的な参加の機会を設け、活発な委員会の実現を図る。	⑮	D			

学年	第1学年	基礎学力の向上を目指す	SHR・LHRを有効に活用する。	①	B	B
			生徒の現状を的確に把握することに努める。	①	B	
考查前の補充学習を計画的に実施する。	①②③	B				
生活習慣の確立を目指す	欠席・遅刻・早退の防止に努める。	⑤	C	C		
	「面接」と結びつく身だしなみを意識させる。	⑥⑦	C	C		
	積極的に保護者との接触に努める。	⑭	B	B		
	面談等を積極的に実施し、個に応じた指導方法を探る。	⑭	B	B		
	クラスへの帰属意識の向上を目指す。	⑭	B			
	生徒指導部と連携し、交通事故の未然防止・遵法心の向上を目指す。	⑨	B	C		
自己実現を目指す	進路意識向上を目的とし、情報の提供に努める。	⑩⑪	C	C		
	資格試験への積極的姿勢を培う。	④⑩	C			
	科・コース選択に対する適切な助言・指導を行う	⑩	B			
	進路希望状況を的確に把握する。	⑩⑪	C			
第2学年	学力の向上を図る。	朝のSHRで小テストを行うなどして、基礎学力の向上を図る。	①	C	C	
		成績不振者に対し、定期考查前に補習を行う。	①	C		
		LHRを活用し、就職試験に対応できる力を養う。	①	C		
	ミックスホームルームの問題点の対応策を検討する。	行事を有効活用し、クラスへの帰属意識を育む。	⑦⑭	B	B	
		SHR・LHRを有効に活用する。	⑫	B		
	進路指導の充実を図る。	進路に対する意識を高め、日常生活に反映させる。	⑩	C	B	
		業者によるガイダンスを実施する。	⑩⑪	B		
		インターンシップを推進し、勤労や職業に対する意識を育てる。	⑩⑪	B		
		礼儀や正しい言葉遣いを身につけさせる。	⑦	C		
		進路適性検査を実施し、進路に対する意識の高揚を図る。	⑩	B		
		計画的に進路希望調査を実施し、生徒の希望状況を把握する。	⑩	C		
	基本的な生活習慣の確立に努める。	欠席・遅刻・早退の減少を目指す。	⑤⑦	C	B	
		規範意識を高める。	⑦	C		
		修学旅行等の行事を通して、協調性を育て、マナーの向上を図る。	⑦⑫	B		
		交通ルールやマナーを守る心を育て、事故の未然防止に努める。	⑦⑨	B		
		服装・頭髪をきちんとさせる。	⑦	C		
		面談を通し、個々の生徒に応じた対処法を考える。	⑬	B		
	第3学年	基本的な生活習慣のさらなる確立に努める。	欠席・遅刻・早退の減少を目指す。	⑤	B	B
保護者との連絡を密にする。			⑧⑭	A		
社会人として通用する、「身なり」・「言葉づかい」を指導する。			⑥⑦⑩	C		
ミックスホームルームの対応策の検討を継続する		生徒指導部と連携し、学校内外における、遵法意識の向上を目指す。	⑦	B	B	
		ミックスホームルームの利点を伸ばし、欠点を補うホームルーム経営を目指す。	⑫	B		
		集団への帰属意識の向上を目指す。	⑫⑬⑭⑮	B		
基礎学力の向上に努める。		計画的なロングホームルームを実施する。	⑫	B	C	
		朝のSHRで小テストを行うなど、基礎学力の定着と向上を目指す。	①②	B		
進路に対する意識の向上を図る。		定期考查・進学対策の学習・補習を、計画的に実施する。	①②	C	B	
		進路指導部と適宜打合せを行い、進路対策の充実を図る。	⑩⑪	B		
	面接指導について検討し、効率的な指導を目指す。	⑩	A			
	「就職試験対策ドリル」を有効的に活用し、実力テスト・適性検査を実施する。	①⑩	B			
	進路指導室の積極的な利用の促進と、相談できる環境の整備を進める。	⑩⑪	A			
	「進路カード」・「個人ファイル」を作成し、有効的に活用する。	⑩⑪	B			
					<ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得の重要性についての理解を深め、補講等への参加に対する積極性を向上させる。</li> <li>目標をより具体化させ、教員への周知を図る。</li> <li>各生徒の到達度を把握するよう努める。</li> <li>家族や友人関係など生徒の背景の把握に努め、日常生活指導や進路指導へとつなげることを目指す。</li> <li>学習・進路・生活に対して意識を持たせることにより、自発的な態度が養われることを目指す。</li> <li>年間計画に基づいた基礎学力向上のためのドリル、チェックテストを実施する。</li> <li>全員受験の検定については、受験する級について検討をくわえる。</li> <li>進路の具体的な情報を提供する。</li> <li>服装を正し、あいさつを習慣化する。</li> <li>学校を休まない意識付けを徹底させる。</li> </ul>	
					<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路実現に向け、面談を行い、一人一人の生徒の希望を正確に把握する。</li> <li>適性検査や就職模試を行い、一人一人の生徒に応じた進路指導を行う。</li> <li>就職試験や推薦入試等に備え、欠席・遅刻をなくし、服装・頭髪をきちんとさせる。</li> <li>基礎学力不足の生徒への対策を学年全体で計画的に行う。</li> </ul>	
					<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力向上を図るため、その方法を引き続き検討する。</li> <li>遅刻者がなくなる指導方法を検討する。</li> <li>進路指導を中心とした、計画的なLHRの実施を目指す。</li> <li>面接指導の実施方法について、検討する。</li> <li>個々に応じた、より良い進路指導のあり方について検討する。</li> </ul>	